

事業報告書

1. 事業名

遺伝子組換え実験安全管理研修会

2. 事業目的

文部科学省の方針に基づき、各機関のより良い遺伝子組換え実験安全管理体制構築に関する情報提供・情報交換および討論を行う。

3. 開催期間

令和4年7月23日（土）13時00分～16時00分（Zoomウェビナー）

4. 主催等

主催 遺伝子研究安全管理協議会

共催 国立大学法人中国地方バイオネットワーク連絡会議

後援 文部科学省

5. 参加機関

国立大学法人 44校、私立大学 24校、

国立研究開発法人・公益財団法人等 6機関、

民間研究所等 24組織

合計98機関 参加者合計214名

6. 概要

【特別講演1】

13：00～13：30

「カルタヘナ法について」文部科学省ライフサイエンス課生命倫理安全対策室

【特別講演2】

13：30～14：05

「SARSコロナウイルス2とその遺伝子組換え」群馬大学 神谷 亘 氏

【シンポジウム】

「ゲノム編集技術の魚類への応用と安全管理について」

14：15～14：50

「ゲノム編集技術のマダイ品種改良への応用と産業化に向けた取り組み」

近畿大学 家戸 敬太郎 氏

14：50～15：15

「ゲノム編集魚類の食品・飼料の安全性確認：届出のポイント」

千葉大学 児玉 浩明 氏

15：15～15：50

「ゲノム編集技術を使った外来魚の防除技術の開発」

水産研究・教育機構 岡本 裕之 氏

15 : 50～16 : 00

総合討論

今回の安全研修会では、前半でカルタヘナ法とSARSコロナウイルス2の組換え実験についてご講演いただき、後半のシンポジウムでは、魚類におけるゲノム編集技術の応用について、安全管理の側面からも含めて関連研究者にご講演いただいた。参加者へアンケートを行った結果、今回のテーマについて、専門外の方にも分かりやすく大変有意義であったとの感想がよせられた。

オンライン開催については、参加のしやすさから歓迎する声が多かった。

参考資料

- ① 当該安全研修会のポスター

第14回 遺伝子組換え実験安全研修会

◇日時：2022年7月23日（土）13：00～16：00

◇開催形式：Zoomウェビナー

◇プログラム

13：00～13：30

「カルタヘナ法について」

文部科学省ライフサイエンス課生命倫理安全対策室

13：30～14：05

「SARSコロナウイルス2とその遺伝子組換え」

群馬大学 神谷 亘 氏

14：05～14：15 休憩

【シンポジウム】「ゲノム編集技術の魚類への応用と安全管理について」

14：15～14：50

「ゲノム編集技術のマダイ品種改良への応用と産業化に向けた取り組み」

近畿大学 家戸 敬太郎 氏

14：50～15：15

「ゲノム編集魚類の食品・飼料の安全性確認：届出のポイント」

千葉大学 児玉 浩明 氏

15：15～15：50

「ゲノム編集技術を使った外来魚の防除技術の開発」

水産研究・教育機構 岡本 裕之 氏

15：50～16：00

総合討論

◇申込方法

遺伝子協の公式WEBサイトで受付

<https://www.idenshikyo.jp/>

参加申込締切は7月8日（金）となります。

◇参加費

無料

◇主催：遺伝子研究安全管理協議会

共催：国立大学法人中国地方バイオネットワーク連絡会議

後援：文部科学省